



静岡県地方版
第393号
2024-9-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18 早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの 運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

株価に右往左往する日本経済

県本部理事 木俣 徹

バブル崩壊以降、日本経済は新自由主義の行き詰まりとアベノミクスの大失政で抜け道の見えない袋小路に迷い込んでいる。先ごろアメリカの景況に連動して日経平均株価が大暴落して世間は上へ下への大騒ぎをした。日銀はマイナス金利政策の解除を発表したものの株価のさらなる暴落を恐れて躊躇している。一方、庶民にはNISAなど資産運用を投資に誘導して市場主義経済の大混乱に巻き込もうとしている。

今回の株価暴落に、フィナンシャルプランナーや経済評論家は不安に駆られる一般投資家やNISA利用者に対して、異口同音に、株価は最終的には必ず上がります。その道のりには紆余曲折はつきものだから一喜一憂せず長い目で構えろ、と動揺を鎮めようとしている。資本主義が続く限り彼らは、株価は上がり続けることを信じるしかないという思考にからめとられている。おかしい前提に大いに疑問を持ち、「未来永劫資本主義が続くなんて誰が決めたの?」と素朴な視座で

資本主義から次のステージはどんな社会があるのか、創り上げていく真剣な努力が私たちには求められている。参考としてAIに資本主義と社会主義の違いを聞いてみた。

【資本主義】生産手段の私有…個人や企業が生産手段（工場、土地、機械など）を所有。

市場経済…価格や生産量は市場の需要と供給によって決まる。競争…企業間の競争が奨励され、効率性や革新が促進される。個人の利益追求…個人や企業が利益を最大化することが重視される。

経済的不平等…競争の結果として、富の分配に不平等が生じることがある。

【社会主義】

生産手段の公有…生産手段は国家や共同体が所有し、管理する。計画経済…政府が経済計画を立て、生産や分配を管理する。

平等の重視…富や資源の平等な分配が目指される。社会的福祉…全ての人々に基本的な生活水準を保証することが重視される。

競争の制限…市場競争は制限され、政府の計画に基づいて経済が運営される。

これらの違いにより、資本主義は経済の成長と革新を促進する一方で、社会主義は平等と社会的福祉を重視します。それぞれのシステムには利点と欠点があり、どちらが優れているかは一概には言えません。

（浜松市・きまた とおる）

第41回県本部大会を開催

8月25日、清水民商会館において第41回国賠同盟静岡県本部大会が開催されました。大会には支部からの代議員28名



評議員2名の30名が参加、中央本部の永島民男事務局長が「国賠同盟の存在意義と役割」と題して記念講演。引き続き大会議事では最初に前大会後亡くなられた11名の会員に黙とう、中央本部の吉田会長のメッセージを紹介するとともに共産党、県評、救済会新婦人、平和委員会、生健会の各県本部からも連帯のメッセージが寄せられたことが紹介されました。早崎末浩事務局長の活動方針の提案、勝呂伸子財政部長の決算、予算の提案を受けて4名が発言、まとめの後「早期に520名の県同盟の実現、全国2万の同盟建設で政治変革を」との

特別決議を含め全会一致で採択、新役員を選出しました。選出された役員は次の通り。（*：新任）

会長…江川佐一、副会長…佐野正明、事務局長…早崎末浩、事務局次長…勝呂伸子、平塚倫豊

4役以外の理事…下山一美（伊豆）、*塚平育代（伊豆）
加藤宏司（沼駿）、山崎公久（沼駿）、*西村綾子（岳南）、内田隆典（清水）、松原聡（清水）、寺尾昭（静岡）
芝田令子（志太榛原）、定石公男（志太榛原）、銘苅弘実（志太榛原）、山田俊廣（中東遠）、山本紀光（中東遠）、*竹原賢司（中東遠）、森下厚司（西部）、木俣徹（西部）
会計監査…平井敏男（清水）

顧問…宮城嶋正博（清水）、*見機久礼（清水）

第一回県本部理事会を開催

9月10日、静岡国労会館において県本部大会後最初の理事会が理事12人の参加のもとに開催されました。江川会長の開会あいさつ、佐野副会長の情勢報告、早崎事務局長の活動のまとめと当面の活動方針のあと討議をすすめました。

当面する活動では、県本部大会で決めた「早期に520名会員の実現」のため、各支部が次期大会にむけて改めて会員到達目標を明確にすること、「学習テキスト」を活用した学習活動の強化などについて意思統一をはかりました。

地はりの花

国賠女性部総会開催!!

2024年10月10日(木)

13:30から開きます。場所(静岡駅南口の国労会館です。又さびりの総会です。いろいろ話し合い再び暗黒時代にもしばぬよう。女性のかを發揮しましょう。いつまでも、あいて行きましょう。



『2024年10月、国賠問題女性部総会議案』

(1) 国内外の情勢

国際的には、イスラエルはガサへの攻撃を止めず、ロシアとウクライナの戦いは、今だに続いています。罪のない人々の犠牲が増える(まわりです)。

国内では、岸田首相が9月の任期満了を控え、早々と8月に次期は立候補しないと表明。後任のポスト争いにメディアは、騒がしい。裏金問題、統一教会との癒着を解明せず、アメリカと足並揃え軍備増強に邁進しています。憲法改悪の道筋を着々と準備しています。

治安維持法廃止者
国家賠償要求同盟
静岡県 女性部11号
2024年9月15日

(2) 今回の活動報告

① 女性部役員体制の確立。県本部理事2人と、静岡、浜南支部の女性会員、4人の体制に整えました。

② 女性ニュース、「地はりの花」を月1回発行し、2023年11月から9月まで、10号にのびりました。皆さんのご協力により、会員の感想も掲載できました。

③ 会員加入のお誘い：女性部として静岡で5名の方に働きかけ2名の入会が、ありました。8月1日の会員数は、全休で502名、内、女性174名です。34.7%です。

④ 5月5日、国会請願行動(署名提出)に県で5名参加し、うち、1名は女性でした。(感想：クサ付「地はりの花」)

⑤ 各地で「わが青春」の上映会を開催し、女性会員が活躍しました。(感想：吉田町開催、6/5付「地はりの花」)

⑥ 全国女性交流集会(国賠中央女性部主催)に参加しました。

⑦ 県母親大会、口除女性リーダー集会へ参加しました。

(3) これからの運動

① 月1回の女性役員会議を開催。方針にそった予定を立てます。

② 女性部ニュース「地はりの花」を月1回発行していきます。

③ 署名活動 } 定期的に女性部として、取り組みます。

④ 入会のお誘い訪問 }

⑤ 全国女性交流集会への参加をより広く呼びかけます。

⑥ 先人に学ぶ、学習会とついでに開き交流を深めます。(東中、西部)

⑦ 新時代を切り開いた人達の足跡を、歴史探訪の方を

(1泊)を計画します。

しなやかに軽やかに時に強く NO、9 憲法公布以降も続いたたたかい

47 年 12 月民法改正 妻の無能力規定を削除、戸主制度の廃止、結婚および離婚の自由、財産に均分などが認められた。10 月には刑法上の姦通罪の規定が廃止。

47 年 11 月に施行 労働基準法 男女同一賃金の原則、深夜業の禁止、生理休暇・産前産後休暇、育児時間の保障など

47 年 教育基本法、教育制度発足 小 6、中 3 義務教育
しかし、実質的には保障されない

「婦人に向けられたる封建的な思想、制度及び慣習に対し、その開放のために闘う」

47 年 1 月 1 日吉田首相年頭の辞 「不逞の輩発言」

資本家に生産サボタージュ？

公務員労働者が、怒る。民間産業月収 1200 円～1500 円に比べ
月収 556 円ベース 4 人家族、42 歳教員手取り 660 円支出は 3
倍の 1617 円で、8 割は食費

秋田県の夫を失い、娘を育てていた女教師が、生きる希望を失い自殺など痛ましい報道もありました。

46 年末「全官公庁共同闘争委員会」を結成（教員組合、国鉄、全通、なども） 最低基本給 16 歳で、650 円、年末手当、本人 1 人 1500 円、家族 1 人 300 円給料の現金支給 吉田内閣打倒

⇒公務員が、内閣打倒人民大会に参加することを禁止、争議中は、言及すると脅した。汽車や電車は「吉田内閣打倒」の垂れ幕を付け、町や村を走りました。農民も支持。

先生がストをするという前代未聞のできごと、父母や子どもたちに理

解され、かえって励まされるほどでした。

47 年 2・1ゼネストへ 闘争が盛り上がり、準備が進む

共闘の議長井伊弥四郎が、1 月 31 日午後、GHQ に呼びつけられ数時間の抵抗の末、スト中止をラジオ放送「一步後退、二歩前進」と涙とともに訴える

47 年 3 月トルーマン・ドクトリン「反ソ反共、原爆生産設備の大増強、軍事政策の強化」

冷たい戦争 アメリカの対日政策は日本を「アジア戦略の新たな拠点化へ」

しかし、公務員労働者 賃金を 2 倍 1200 円ベースに引き上げる。経済要求を獲得し、全ての官公庁に労働組合がつくられ、団体協約を結ぶ。

3 月 産別、総同盟など 40 団体 446 万人の労働者が、全国労働組合連絡会議をつくる。労働戦線統一への一歩

2 月～3 月教員組合の団体協約母性保護を含む団体協約をかちとる。（労基法施行より前）

生理休暇 3 日、産前産後休暇 16 週間、妊娠による欠勤は休暇と認める。産後 1 年間は哺乳時間をあたえる。産休などを理由に罷免しない。出産の実費支給確立につとめる。全日本教職員組合協議⇒6 月発足日本教職員組合（日教組）

1947 年 3 月 8 日 戦後初の国際婦人デー （2020 年 3 月 8 日 全世界で取り組まれた。）

1000 人 皇居前の人民広場「やみとインフレの政府を倒し、明るく楽しい生活」「女性を苦しめるすべての拘束の撤廃」女性を守る会主催（次回に続く） 日本近代女性史米田佐代子著参考

私と国賠同盟

清水支部

見機 久礼

2025年は、治安維持法が制定・施行されて100年目です。戦争へ突き進んだ当初の20年と、敗戦後の80年です。私はもうじき88歳になりますので、体験者でもあります。私の父・伊東三郎（ペンネーム）はエスペラントや農民運動で何度も刑務所に入れられ、それを支えた母・宮崎公子によって家族は極貧の中を生きてきました。68年の国賠同盟創設時は、私は子育てをしながら、新婦人静岡支部で、母親大会、保育所づくり、教育懇談会などの運動に関わっていました。両親は、時々静岡に手伝いに来てもらったりして暮らした頃、国賠同盟静岡県本部の初代会長の中村義雄さんや太田慶太郎さんと「刑務所時代」の交流をしていました。父は69年、66歳で、母は99年、89歳で亡くなりましたが、何時も黄色い署名用紙を持ち歩いて勧めていた母との約束「新婦人の専従を降りたら」と、その年に入会し、2006年の第23回県大会で理事になりました。毎月、「不屈」県版の印刷や発送を事務局長の松永和夫さんと一緒にしていました。県同盟25周年記念誌「われも黄金の釘ひとつ打つ」が手元にあります。2000年10月7日に東海軒の集いで、その時私はまだ新婦人県本部会長として挨拶をしていました。「静岡県同盟が結成されたという1975年という年は、国連で決めた国際婦人の年でもありまして、さまざまな差別と闘いつづけ、戦前、戦後、現在にいたるまで努力してきている女性たちにとっても、解放運動の歩みのなかで、とても記念すべき年だと思います。」。当時会長は遠藤正さん。土屋貢さん、漆畑長一さんの会長時代のおぼつかない事務局長は黄金の釘になれるだろうか？と

思っています。

(みき くれ)

東海ブロック交流会に静岡から10人参加

9/8・9に東海ブロック交流会が蒲郡市・ホテル竹島で開催され、静岡県から10人、全体で56人が参加しました。学習と活動交流、親睦をはかることが目的で、記念講演では、中央本部事務局長・東京山宣会会長の永島民男氏が「治安維持法に反対した山宣」と題して講演。また、学習講演として若山晴史中央本部副



会長から「治安維持法とは何か」という学習テキストを踏まえた話がされ、現在に息づく治安維持法体制の問題と国賠同盟の役割を深くつかめる学習の場となりました。

発言は全体で13人。静岡からは江川佐一、早崎末浩、江川謙一、佐野正明の4人が発言しました。

8・15終戦記念日宣伝にとりくむ

8月15日の終戦記念日の宣伝行動は、中東遠支部が掛川駅頭で宣伝行動、5人でハンドマイク宣伝とビラ配布。また沼駿、清水、志太榛原支部では新聞折り込みで宣伝、6320枚のビラを活用しました。

会員拡大と国会請願署名到達

2024・9・10現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	7月 到達	増減	現在 到達	うち夫 婦会員	団体 目標	7月 到達	増分	現在 到達	個人 目標	7月 到達	増分	現在 到達
伊豆	27	24		24	6	40	0		0	280	0	0	0
沼駿	60	61		61	16	48	2	+3	5	640	15	+40	55
岳南	25	20		20	6	32	0		0	280	0	+24	24
清水	45	35		35	8	50	1	+1	2	900	15		15
静岡	45	36		36	2	64	0		0	400	0	+35	35
志太榛原	140	142		145	38	40	1		1	320	17		17
中東遠	105	101		101	16	40	0	+11	11	320	0	+79	79
西部	73	80	+1	81	10	64	0	+1	1	600	95	+56	151
県本部	-	-		-		22	1		1	260	0		0
合計	520	499	+1	503	102	400	5	+16	21	4,000	142	+234	376

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

(会員の皆さんの作品を適宜紹介します。
作品をお寄せ下さい。)

刈られても 新芽を出して緑の波
生命力を茶畑に見る

島田市 鈴木 恵

幼児が向日葵見上げ笑つてる
この子のために九条守る

島田市 檜山 直巳

夜も昼も 戦火の真下 逃げまどいし
憲法九条 世界の宝

静岡市 松浦美智世

編集後記

▼政治資金裏金問題で国民の大きな不信を買い政権を投げ出した岸田首相が立候補を断念するもとで9人が立候補した自民党の総裁選が行われている。問題の大本にある企業団体献金問題には全く触れず、変化を起こすそぶりを示すことに苦心しながら改憲姿勢を明確にする自民党総理では政治の改革は無理。総裁選後には早々に新しい内閣の下で解散・総選挙が行われます。あるべき政治の姿を堂々と訴え、これまでの自公政権にけじめをつける政権の樹立が求められます。

S・H

